

手足口病の流行について（警報）【速報値】

令和元年（2019年）7月30日（火）15時00分
追加情報 令和元年（2019年）9月10日
（令和元年（2019年）第36週速報値情報追加）

北海道富良野保健所
（北海道上川総合振興局保健環境部富良野地域保健室）
電話：0167-23-3161

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和元年（2019年）第30週（令和元年7月22日～7月28日）において、富良野保健所管内の定点あたりの手足口病患者報告数が、警報基準である5人以上となりましたので、まん延を防止するため警報を発令します。

今後、富良野保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いいたします。

記

1 手足口病受診数 第36週（令和元年9月2日～9月8日【速報値】）

区分	富良野保健所	全道※	全国※
定点当たり患者数	3.50人	10.44人	3.05人
定点受診患者総数	7人	1,441人	9,630人

※全道、全国数値は第35週（令和元年8月26日～9月1日）の公表値

2 手足口病とは

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。5歳以下の乳幼児を中心に、主に夏に流行します。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません

ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気ですが、まれに、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症が起こる場合があります。

なお、手足口病の流行状況は北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

（URL：<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/605/map.html>）

3 手足口病の感染予防

手足口病は飛沫感染、接触感染により伝播するため、流水とせっけんによる手洗いが有効です。

なお、タオルなどは別に使いましょう。

また、おむつ等の交換時は、排泄物の適切な処理が必要です。

4 参考

（1）手足口病の警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査事業の一環として、富良野保健所管内の医療機関（施設数2か所）を受診した手足口病患者数を一週間ごとに把握・集計し、あらかじめ定めた警報の基準値を超えた場合に発令します。

警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

【警報の基準】

警報：1 定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で5人以上の場合

※警報発生後は、1 定点医療機関あたりの受診患者数が2人以上の間は警報を継続

（2）最近5週における定点医療機関からの報告状況（表示は「報告数（患者／定点）」単位：人）

	第31週 (7/29～8/4)	第32週 (8/5～8/11)	第33週 (8/12～8/18)	第34週 (8/19～8/25)	第35週 (8/26～9/1)
富良野保健所	24(12.00)	32(16.00)	18(9.00)	4(2.00)	4(2.00)
全道	1,912(13.86)	2,030(14.82)	1,098(8.13)	1,188(8.61)	1,441(10.44)
全国	33,263(10.62)	22,677(7.40)	9,165(3.04)	8,624(2.74)	9,630(3.05)